

7. 血液内科

血液内科部長 白土基明

2023年もコロナクラスターによる制約の中での診療となりましたが、オミクロン株が主流になり重症化しにくくなったこと、5類に移行したこと、コロナ治療の経験が増えたことにより以前より対応しやすくなっております。4月から九大病院より津田医師がスタッフとして加わり、常勤医7名体制（時短勤務、専攻医含む）となりました。

まだまだ新規治療薬の登場は続いており、他施設とも連携をはかりながら最新の知識を得て診療レベルを向上するよう努めて参ります。

2023年1月～12月実績

総退院患者数：551件

外来新患数：725件

診断名	新患入院数	退院患者数	平均在院日数	平均年齢	男	女
急性骨髄性白血病	21	96	25.0	68.8	63	33
急性リンパ性白血病	5	31	28.9	56.7	18	13
骨髄異形成症候群（経過中に化学療法あり）	6	28	16.7	76.3	21	7
骨髄異形成症候群（経過中に化学療法なし）	5	8	25.1	84.3	5	3
慢性骨髄性白血病	5	10	14.9	63.9	7	3
その他の骨髄増殖性疾患	3	6	24.3	80.5	4	2
非ホジキンリンパ腫	74	205	22.7	70.5	101	104
ホジキンリンパ腫	5	14	22.9	67.3	4	10
多発性骨髄腫	27	77	25.8	72.9	39	38
成人T細胞性白血病・リンパ腫	5	16	24.7	69.6	7	9
その他のリンパ増殖性疾患（CLLなど）	1	5	30.6	64.6	1	4
再生不良性貧血	3	9	26.6	65.0	5	4
溶血性貧血	3	6	13.3	55.0	5	1
特発性血小板減少性紫斑病	14	27	26.4	75.2	16	11
その他	11	13	10.5	58.4	6	7
合計	188	551	23.5	69.8	302	249

骨髄穿刺件数（2023年）：638件